



Market View 10月号

株式市場

日経平均株価：割安感から持ち直しへ



- 日本株は依然割安であり、企業業績の上方修正も期待されることから持ち直しを見込む。
- 出遅れ株の上昇や参院選を念頭にした歳出の拡大が意識されれば、株価が上値を試す可能性も。

NYダウ：緩やかな上昇



- 持ち直しの後は緩やかな上昇基調を見込む。
- ただし人件費や原油価格の上昇、米中関係の一段の悪化など悪材料が出てきており、今後の上昇余地は限定される。

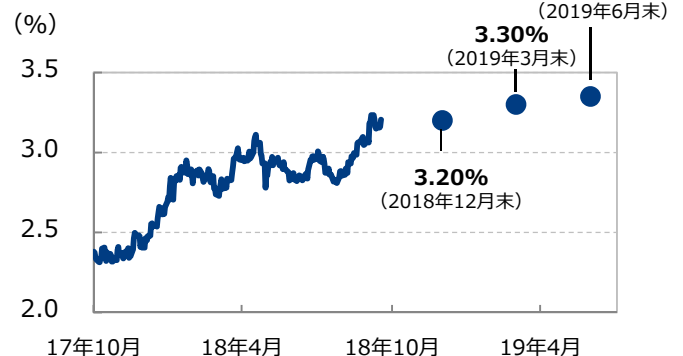
債券市場

日本10年国債：横ばいで推移



- 海外長期金利の上昇、日銀の国債買入れの緩やかな減額にサポートされる形で、国内債利回りは現行の長期金利誘導目標レンジ内の上方での推移が見込まれる。

米国10年国債：緩やかに上昇



- Fedが利上げを当面継続する中、米債利回りは緩やかに上昇すると考えられる。
- ただし、来年後半頃には、利上げサイクル終了が意識されるため、上昇余地は限定的と見られる。

(1/2)

※2017年10月31日から2018年10月17日までのデータは実績値。2018年12月末、2019年3月末、6月末の値は当社予想。各種データをもとに大和住銀投信投資顧問作成

本資料に示す当社予想は、特に断りのない限り本資料作成日現在における大和住銀投信投資顧問運用部門の見解です。また、大和住銀投信投資顧問が設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。



資産運用のベストパートナー、だいむすびざん

大和住銀投信投資顧問

Daio SB Investments



Market View 10月号

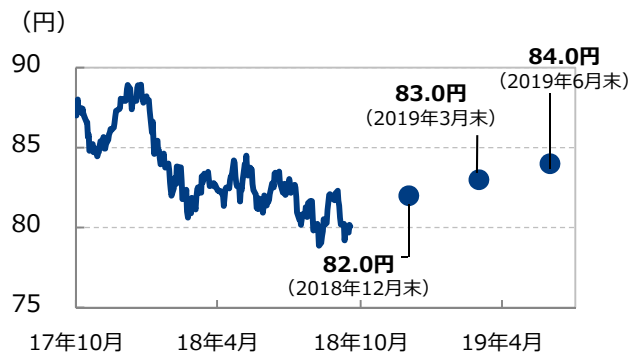
為替市場

米ドル/円：緩やかに円安へ



- 当面のFedの利上げ継続、日本企業による積極的な対外直接投資、原油高を背景とした日本の貿易収支悪化懸念などを背景に、緩やかな円安ドル高が見込まれる。

豪ドル/円：緩やかに上昇



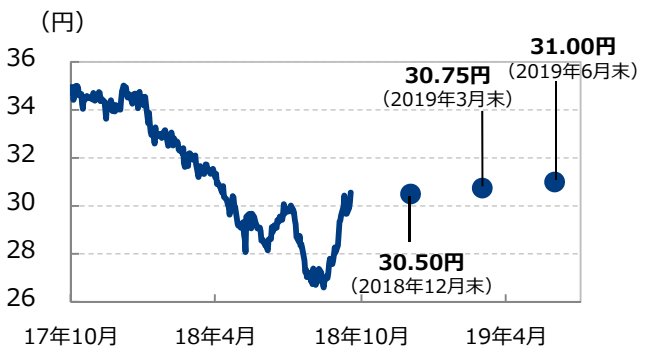
- 豪州景気は引き続き堅調だが、RBAの政策金利据え置き長期化や中国景気悪化懸念により、豪ドルの上値は抑えられると予想。

メキシコペソ/円：上昇ペースは緩やか



- 新NAFTA合意はほぼ織り込み、新政権の動向に注目が移ろう。
- 新政権の政策姿勢に伴う不確実性、米金利上昇に伴う金融市場の不安定化などから上昇ペースは緩やかに。

ブラジルリアル/円：上値が重い展開



- 大統領選に伴うポジティブな材料をかなり織り込みつつある。
- 選挙後は、新政権の動向、米金利上昇に伴う金融市場の不安定化などから上昇の勢いは鈍るか。

(2/2)

※2017年10月31日から2018年10月17日までのデータは実績値。2018年12月末、2019年3月末、6月末の値は当社予想。各種データをもとに大和住銀投信投資顧問作成

本資料に示す当社予想は、特に断りのない限り本資料作成日現在における大和住銀投信投資顧問運用部門の見解です。また、大和住銀投信投資顧問が設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。



資産運用のベストパートナー、だいむすびざん

大和住銀投信投資顧問

Daikoku SB Investments